

弱溶剤1液架橋型NADアクリルシリコン樹脂塗料

YUMEROCK[®]

1液

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

1液ユメロック

幅広い
素材適性

弱溶剤

低汚染

速乾性

オール
マイティ

高耐候

耐UV性

すぐれた
作業性

住宅、事務所、店舗、
集合住宅、工場など

防藻
防カビ

1液型

重金属
フリー

現場塗装に最適な1液型塗料の決定版!



ロックペイント 株式会社

作業効率の良い高性能な1液タイプの塗料が完成しました!

2液タイプの信頼性(高耐久性、低汚染性)を1液で実現! 硬化剤配合の手間や入れ忘れのミスが無く、可使用時間の制限も無いため、塗料を無駄にしません。1液ユメロックは、ご好評のユメロックの性能を継承し、1液NADアクリルシリコン樹脂による特殊架橋構造の強靱な塗膜を形成するため、すぐれた耐久性を発揮します。

特長

1. 1液型のすぐれた作業性と速乾性で効率アップ

特殊速硬化技術により、10時間(23℃)で塗り重ねが可能。従来の1液型塗料に比べ、作業効率が格段に向上しました。また塗装時の発泡が起りにくく、ハケ・ローラー運びも非常にスムーズです。

2. 弱溶剤で幅広い用途適性

弱溶剤の塗料用シンナーで希釈するため、塗り替え時の各種旧塗膜、下地を気にせず幅広く使用できます。また住宅、店舗、工場の内外壁や工期の短い改修工事などオールマイティーにご使用いただけます。

3. 高耐候性・低汚染性

三次元に架橋した網目樹脂構造と耐UV(紫外線)性により、高耐候性を示すとともに、耐水性・耐アルカリ性・耐衝撃性にすぐれています。また、アクリルシリコン樹脂の持つ高い親水性により、従来の汎用塗料と比較して、低汚染性がすぐれているため、高耐候性と低汚染性のW効果を発揮します。

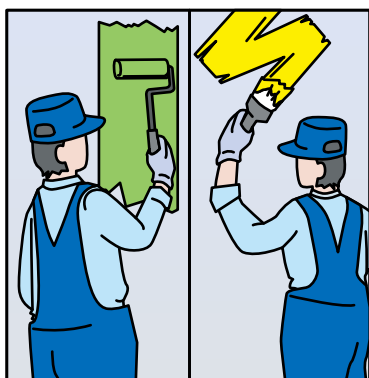
4. 防藻・防カビ性

最先端の防藻・防カビ技術により、藻・カビの繁殖を抑え、清潔な住環境を維持します。

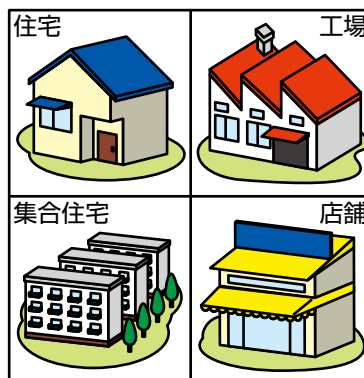
5. 環境・人にやさしい

原料に鉛、クロムなどの有害重金属を使用していない安心設計です。また、匂いもマイルドで、塗装環境の改善にも役立ちます。

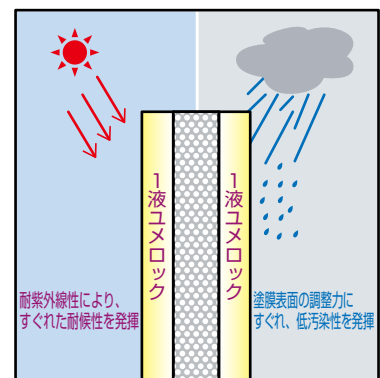
抜群のハケ・ローラー作業性により現場塗装適性にすぐれる



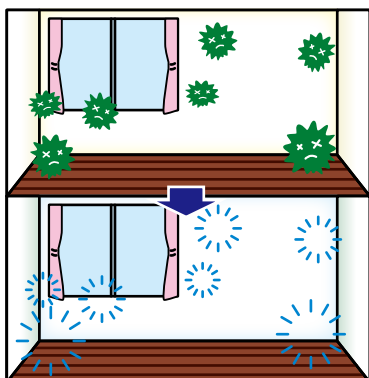
幅広い用途適性でオールマイティーに使用可能



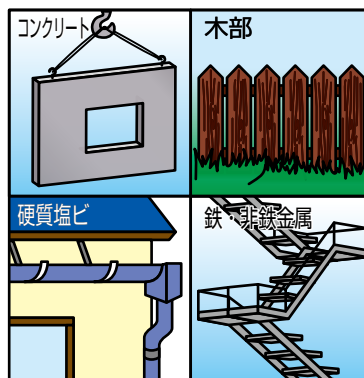
高耐候性と低汚染性のW効果



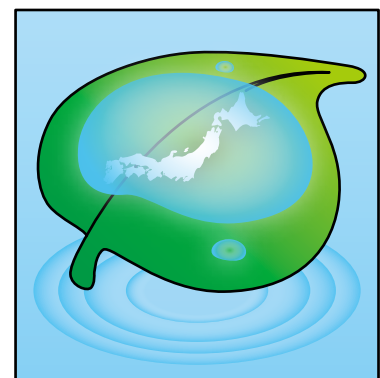
防藻・防カビ性にすぐれています



幅広い素材適性でオールマイティーに使用可能



鉛、クロムなどの重金属を配合していません



適応素材

素地	コンクリート モルタル	鉄部	亜鉛 メッキ	アルミ	木部	F.R.P.	硬質 塩ビ	軟質 塩ビ	アクリル板
新設及び 塗り替え適性	○	○*1	○*1	○*1	○*2	○*3	○*4	×	×

*1…金属部に塗装する場合は、下塗りに適性のあるサビ止め塗料を塗装する必要があります。

*2…木部の塗装については木の材質などによりはがれ、割れを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し確認してください。

*3…F.R.P.に塗装する際は十分な脱脂とペーパーによる足付けを行ってください。

*4…硬質塩ビに直接塗装する場合は、ペーパー等で十分に足付けを行ってください。

性能

1液ユメロックは速乾性で可使用時間がなく、耐水性、耐アルカリ性、耐衝撃性にすぐれています。また、特殊架橋構造の強靱な塗膜により耐久性、低汚染性、作業性のいずれにもすぐれています。

試験項目	塗料種類	024ライン 1液ユメロック	他社 1液弱溶剤型シリコン	2液弱溶剤型 ウレタン樹脂塗料
		光沢(60°グロス)	88	85
乾燥時間(23℃)	指触乾燥	35分	35分	25分
	塗り重ね可能時間	10時間以上	2時間以上7日以内	2時間以上
可使用時間(23℃)		なし	なし	7時間
耐水性		○	○	○
耐アルカリ性		○	△	○
耐衝撃性(φ10mm)		○	○	○
促進耐候性 (キセノンランプ照射1200時間・光沢保持率)		90%	70%	80%
耐汚染性		○	△	○

使用方法

【素地調整】

電動工具を主体として、手工具を併用し黒皮や赤サビ、白サビを除去してください。
塗り替えの場合は劣化塗膜を除去し、健全な旧塗膜は表面あらしを行ってください。

【塗装条件】

塗装条件	ハケ	ローラー	エアレス
希釈率 ^{*1}	5~15%		10~20%
希釈剤	塗料用シンナー		
標準塗付量 ^{*2}	0.11~0.13kg/m ² ・回		

希釈は必ず塗料用シンナーを使用してください。
他のシンナーを使用しますと、旧塗膜のリフティング(ちぢみ)の原因となることがあります。

*1 塗料100に対して

*2 標準塗付量については塗装時のロスを含めた数値です。

【乾燥時間】

塗装条件	指触乾燥	塗り重ね可能時間
5℃	60分	16時間以上
10℃	45分	12時間以上
23℃	35分	10時間以上
30℃	20分	8時間以上

指触時間や塗り重ね可能時間は、天候、気温、湿度、膜厚、被塗物の状況などにより多少ずれることがあります。

【注意事項】

- 塗料はクリヤー分が浮いている場合がありますので、使用前に底から十分にかき混ぜ、均一にしてください。
- 上塗り塗料の調色には必ず024ライン 1液ユメロック原色、またはロックトーンカララント3000(ベースの3%以内)を使用してください。ただしロックトーンカララント3000で調色した場合、024-0095フラットベースの使用は避けてください。

標準塗装仕様

【塗り替えの場合】

1. コンクリート、モルタルなど外装材の塗り替え（ロック建築用シーラーを使用）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り ^{注1)}	033-8150 エポシーラーマルチ ^{注2)}	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0 エアレス : 0 (通常不要)	1	0.08~0.10	3時間以上
上塗り	024ライン 1液ユメロック 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	10時間以上

2. 窯業系サイディングボードなど外装材の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り	032-2001 ロックSBフィラー	水	ハケ : 1~5 ローラー : 1~5	1	0.2~0.4	3時間以上
上塗り	024ライン 1液ユメロック 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	10時間以上

3. 鉄、非鉄金属部の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り ^{注4)}	061ライン サビカットII 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0~10 エアレス : 10~20	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内 ^{注3)}
上塗り	024ライン 1液ユメロック 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	10時間以上

4. 硬質塩ビ（雨樋など）・F.R.P.面の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	ゴミ、汚れ、油分などはワイヤーブラシ等で完全に除去する。 塗装する前にサンドペーパーP240~P400で研磨による足付けを行う。					
下塗り	024ライン 1液ユメロック 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	10時間以上
上塗り	024ライン 1液ユメロック 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	10時間以上

注1) 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

注2) 下塗りにはエポシーラーマルチ(透明)の他にロックカチオンシーラーマルチⅢ(透明)、ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトがあります。

また、ピニロックエラストックフィラーⅢなどの可とう形改修塗材Eの仕様があります。塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラーの他にリシガン、タイルガンも使用できます。

注3) 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。

注4) サビカットIIの他に1液型変性エポキシ系の「サビカットプラス」が使用できます。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。

標準塗装仕様

【新設の場合】

5. コンクリート、モルタルなど外装材の平滑仕上げ（ロック建築用シーラーを使用）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイトランス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り ^{注5)}	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ ^{注6)}	水	ハケ、ローラー : 0 エアレス : 0 (通常不要)	1	0.07~0.13	3時間以上
上塗り	024ライン 1液エポック 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	10時間以上

6. 鉄、非鉄金属部の平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮、赤さび、白さびなどを念入りに除去する。日本道路協会素地調整「2種ケレン」、又はSIS St3程度。じんあい、水分、油分は完全に取り除く。					
下塗り ^{注7)}	061ライン サビカットⅡ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0~10 エアレス : 10~20	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内 ^{注8)}
上塗り	024ライン 1液エポック 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	10時間以上

7. 木部^{注9)}の平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	オービタルサンダーでP180~P240ペーパーを用いて、汚れ、付着物、ケバダチを除去して平滑な面とする。木のヤニは削り取るか又は焼きゴテで処理し、揮発油で拭き取る。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要などときは、ロックポリパテで穴埋めを行う。					
下塗り	051ライン ロック木部用マルチ下塗り 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.12~0.20	4時間以上 7日以内
研 磨	サンドペーパーP180~P320で研磨する。					
上塗り	024ライン 1液エポック 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	10時間以上

注5) 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

注6) 下塗りにはロックカチオンシーラーマルチⅢ(透明)の他にロックカチオンシーラーマルチ ホワイト、エポシーラーマルチ(透明)があります。

注7) サビカットⅡの他に1液型変性エポキシ系の「サビカットプラス」が使用できます。

注8) 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。

注9) 木部の塗装については木の材質などによりはがれ、割れを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し確認してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。

種類・容量

品番	品名	容量
024-0203	1液ユメロック ホワイト	15kg
024-0024	1液ユメロック ファインエロー	3kg
024-0029	1液ユメロック オレンジ	3kg
024-0036	1液ユメロック バイオレット	3kg
024-0040	1液ユメロック シンクレッド	3kg
024-0075	1液ユメロック シアニンググリーン	3kg
024-0080	1液ユメロック ロイヤルブルー	3kg
024-0210	1液ユメロック レッド	3kg
024-0225	1液ユメロック オキサイドレッド	15kg 3kg
024-0233	1液ユメロック オーカー	15kg 3kg
024-0234	1液ユメロック ブラック	15kg 3kg
024-0095	1液ユメロック フラットベース	3kg



関連下塗り塗料

分類	品番	品名 (色彩・タイプ)	容量	
木部下塗り	051-1531	ロック木部用マルチ下塗り ホワイト	16kg・4kg	
	051-1532	ロック木部用マルチ下塗り チョコレート	16kg・4kg	
	051-1533	ロック木部用マルチ下塗り ブラック	16kg・4kg	
下地調整材	032-2001	ロックSBフィラー (白色)	15kg	
	032-2106	ビニロックエラストックフィラーⅢ (白色)	16kg	
シーラー	033-1179	ロックカチオンシーラーマルチⅢ (透明)	15kg	
	033-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	15kg	
	033-8150	エポシーラーマルチ (透明)	14kg	
プライマー	061-1540	サビカットⅡ (1液型)	赤サビ色	16kg・4kg
	061-1541		グレー	16kg・4kg
	061-1542		ホワイト	16kg・4kg
	061-1544		ブラック	16kg
	061-3530	サビカットプラス (1液型)	赤サビ色	16kg
	061-3531		グレー	16kg
	061-3532		ホワイト	16kg

施工上の注意

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温及び躯体の温度が5℃以下の場合や、湿度85%以上での塗装は避けてください。(風通しが悪い場合や湿度が高い場合は、気温が高くても乾燥時間が通常よりかかることがあります。)
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- **調色にロックオンカララント3000を使用する場合、024-0095 フラットベースは使用しないでください。**
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗装中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈すると、光沢、隠ぺい性が低下したり、たれや色分かれの原因になります。
- 各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。(例えば、一度に所定量以上塗装すると硬化・乾燥不良を起こし、塗膜に割れ、ふくれ、ちぢみが発生する場合があります。また、塗分量が少ない場合や、希釈すぎた場合、膜厚不足により塗膜不良となる事があります。)
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗分量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプを使用しています。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地も含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要場合があります。
- 金属部の塗装には変性エポキシ系のさび止め「サビカットII」、「サビカットプラス」をご使用ください。
- シーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や、下地処理方法によって、付着不良やリフティング等の塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りすることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理しても、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- ドアバック、緩衝材など可塑性を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- カウンターやテーブル、椅子、棚、床等への塗装は避けてください。
- 木部の塗装については木の材質等によりハガレ、割れを生じることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。
- **内部の塗り替えで、旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。**
- 木部塗装で釘頭には、サビカットシリーズを塗装してください。釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーを用いてさびを除去してからサビカットシリーズを塗装してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗色が濃い場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し、確認してください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗装には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように、換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレーダストなどがたまってくと発熱し、自然発火のおそれがあります。使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は、廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- 上塗り鮮やかなエロ系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。
- ◆ **引火性の危険物のため、取り扱いの際には製品容器の注意書および安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。**

安全衛生上及び取扱い上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒を引き起こすおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- スプレーダストや塗料の付着したウエス等は発熱し、自然発火する恐れがある。

〔救急処置〕

- 目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔取扱注意事項〕

- 取扱いは引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分に換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸入しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
- 使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- よくフタをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の商品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

〔施工後の安全性について〕

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。



ロックペイント株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：